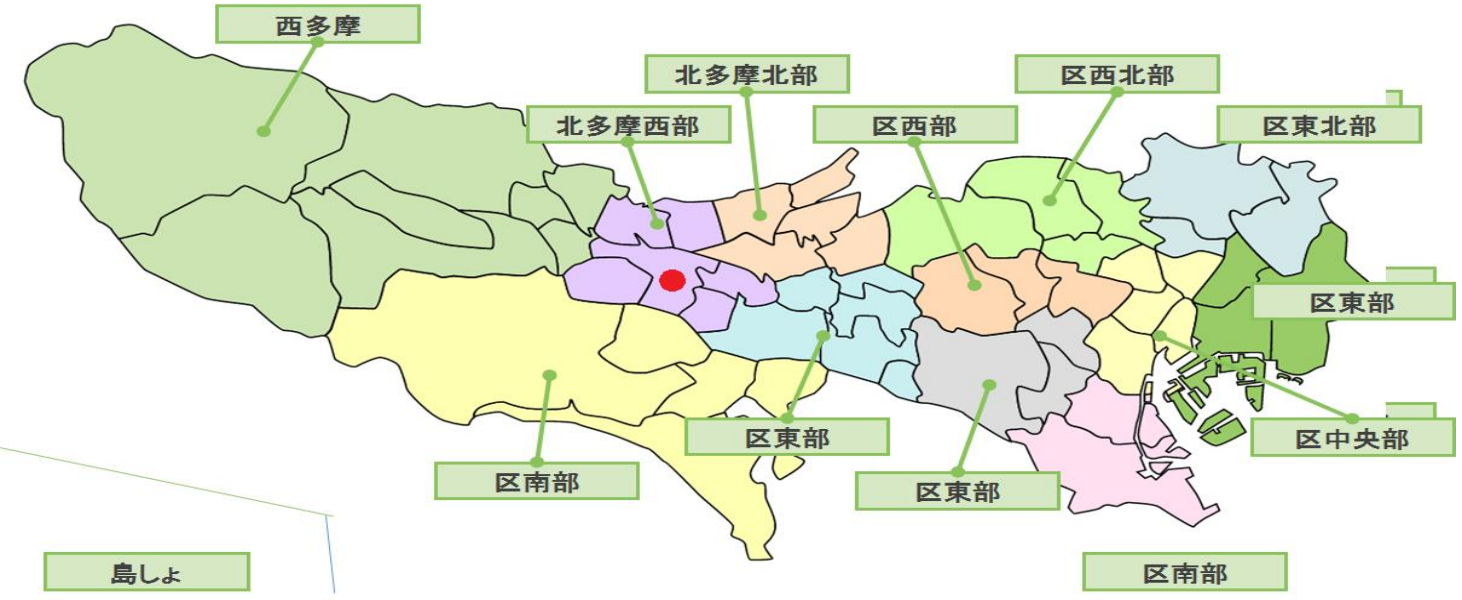
立川病院について



■ 所在地：東京都立川市錦町
■ 最寄り駅：JR西国立駅（徒歩3分）
■ 病床数：450床
■ 診療科：32診療科
■ 1日平均患者数：入院患者数：369人
外来患者数：907人

■ 施設基準等：地域医療支援病院
東京都二次救急医療指定医療機関
東京都災害拠点病院
東京都がん診療連携拠点病院
東京都CCUネットワーク
ＤＭＡＴ指定医療機関
東京ＤＰＡＴ登録医療機関
第二種感染症指定病院
東京都脳卒中急性期医療機関認定
東京都認知症疾患医療センター　　等



薬剤科の特徴

①　専門性の高い薬剤師

薬剤師は薬物療法の専門家ですが、さらに高度な知識をもった「専門薬剤師」・「認定薬剤師」が所属し、チーム医療の一員としてがん治療、緩和医療、感染症、糖尿病、栄養管理などの領域で活躍しています。

②　地域の保険薬局との連携

外来患者さんの「かかりつけ薬局」とは患者さんの服薬状況や副作用の確認などの情報を受け取ったり、患者さんの待ち時間短縮につながるよう業務を効率化したりと相互連携を図っています。

③　薬剤師の教育・育成

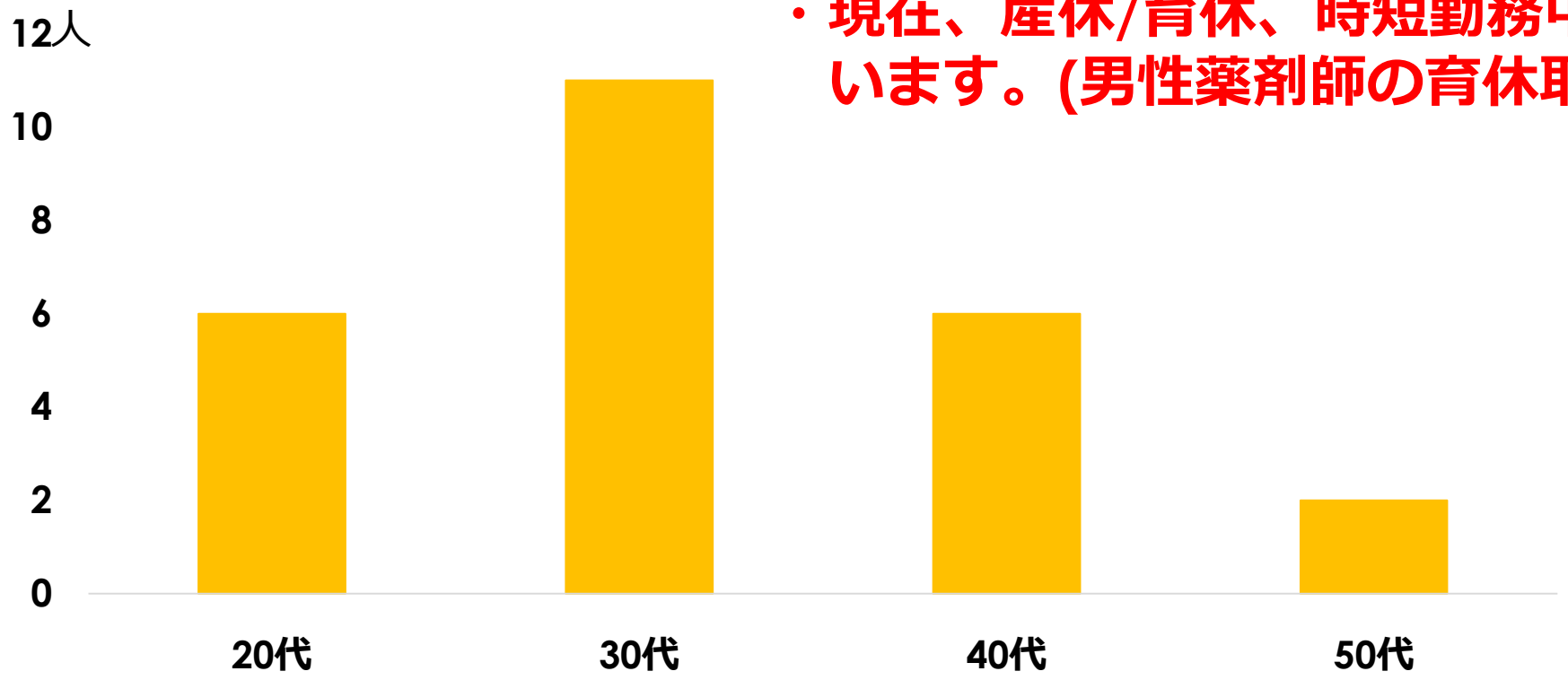
最新の薬物治療に対応するため新薬勉強会開催や学会参加など薬剤師のスキルアップに励んでいます。さらに薬学部学生の実習施設や緩和医療専門薬剤師研修施設など社会的ニーズに貢献できる薬剤師育成に貢献しています。

所属薬剤師概要

■薬剤師　常勤25人・非常勤0人（男性10人、女性15人）

■2025年入職　2人

・30代・40代を中心に活躍しています。
・現在、産休/育休、時短勤務中の薬剤師
います。(男性薬剤師の育休取得実績あり)



認定・専門薬剤師（2024年）

日本薬剤師研修センター認定	3名	緩和薬物療法認定	1名
日病薬病院薬学認定	6名	抗菌化学療法認定	1名
認定実務実習指導	2名	医療薬学専門	1名
がん薬物療法専門	1名	医薬品情報専門	1名
がん専門	1名	漢方薬・生薬認定	1名
外来がん治療認定	1名	糖尿病療養指導士	1名
精神科薬物療法認定	1名	NST専門療法士	1名
妊婦・授乳婦薬物療法認定	1名	スポーツファーマシスト	1名

薬剤科業務

■当院では「中央業務」「病棟業務」の2班があり、相互に助け合いながら業務を行っています。

中央業務

調剤、医薬品管理、院内製剤、抗がん剤調製、医薬品情報、薬剤師外来

病棟業務

病棟業務、入退院支援業務

調剤業務

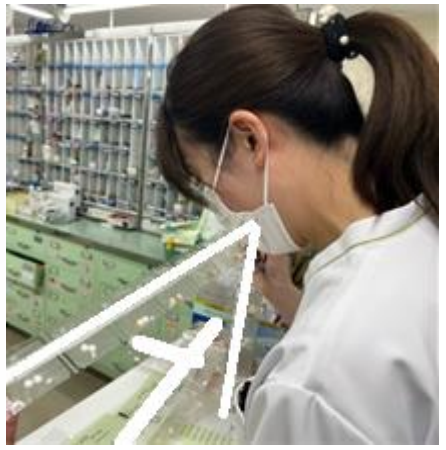
■電子カルテ・調剤支援システムにより併用禁忌や重複処方などをチェックし、さらに薬剤師が用法用量や薬物治療として適切か確認をしています。

■調剤は薬剤師だけでなく、調剤補助員（9名）も行っています。


処方監査


内服調剤


散剤調剤

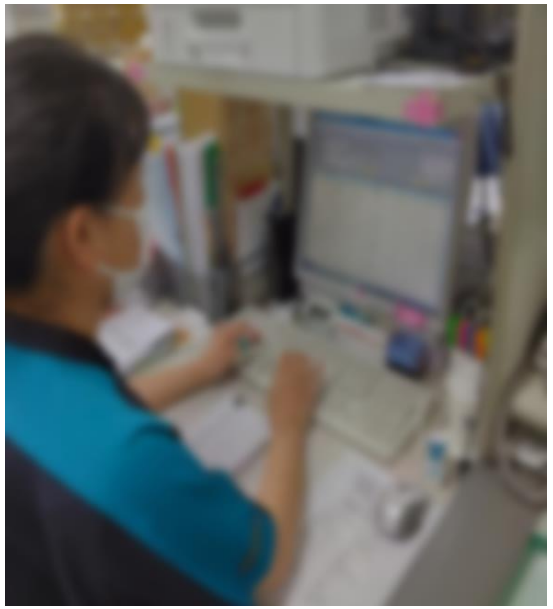

一包化調剤

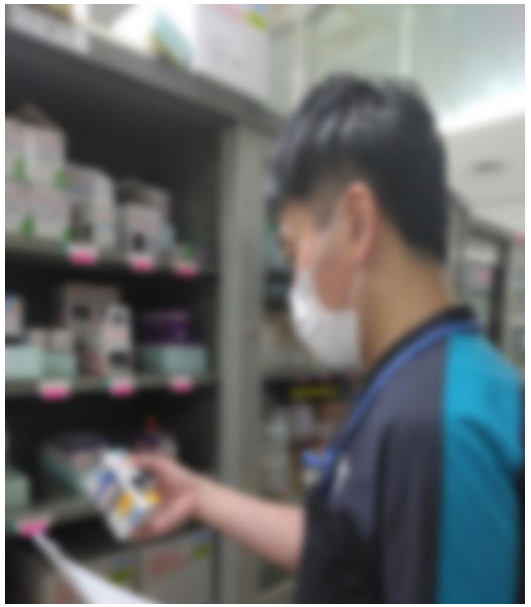

注射調剤

薬務室業務

■医薬品の購入、在庫管理を担当しています。採用薬の使用動向、市場の動きに注意を払い、日々必要な薬剤が供給できるように医薬品卸業者に発注しています。

■救急カートや手術室薬剤セットも行っています。





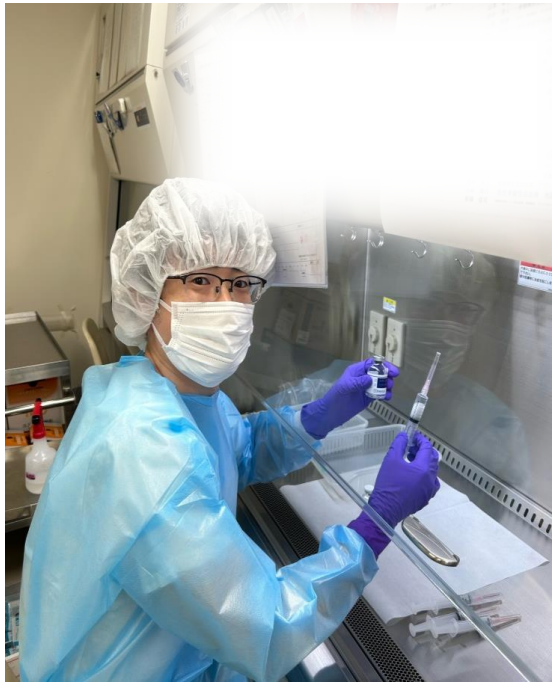


製剤室業務

製剤室では下記の業務を行っています。

■抗がん剤のミキシング業務

■院内製剤の調製







医薬品情報室業務

医薬品情報室では医薬品情報を様々な情報源から収集し、整理・加工して主に院内の医療スタッフに提供しています。



このほか下記の業務を行っています

■病棟担当薬剤師との連携支援

■薬事委員会事務局業務

■治験事務局業務

■医薬品マスタ管理業務　等

薬剤師外来

■がん領域の専門・認定薬剤師が担当しています。

■外来化学療法室に薬剤師が常駐し、当日の検査値や処方確認を行っています。

■外来化学療法室の看護師と連携をとりチーム医療を実践しています。



病棟薬剤業務

■当院では全病棟に専任の薬剤師を配置し、回診やカンファレンスに参加して医師、看護師等と情報共有を行いチーム医療の一員として活動しています。

■患者さんへの服薬指導、持参薬の確認、アドヒアランスや理解度、副作用の確認等を通じて薬物治療の提案を行っています。



入退院支援業務

■入院予定の患者さんに対し、不安なく安全に入院できるよう、多職種が協同して支援を行っています。薬剤師は現在使用している医薬品、副作用歴、市販薬・サプリなどを確認し、必要に応じて術前中止薬の有無や中止時期を確認のうえ説明を行っています。

例　研修プログラム（中途採用）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中央業務 （調剤・抗がん剤調整、薬品管理）						中央業務／病棟業務					
入職			日直			当直					

■個人の経験等によりプログラム内容を調節します

■当直にそなえ、抗がん剤調整、薬品管理などの他の中央業務に対応できるよう各部屋で研修していく

■本人の興味、方向性を考慮したうえ、6か月程度で人員が不足している部署に配属

チーム医療

■院内の多職種チーム活動（緩和ケア、ICT/AST、NST、褥瘡、糖尿病教室、認知症ケア、排尿ケア、周術期、災害、心臓リハビリ、各種委員会等）においても積極的に参画し、薬物治療に貢献しています。

緩和ケアチーム

緩和ケアチームでは週2回カンファレンス、週1回チーム回診を行っています。
薬剤師は3人所属し、疼痛だけではなく、様々な症状・苦痛を緩和できるよう
薬剤師の視点から意見をしています。



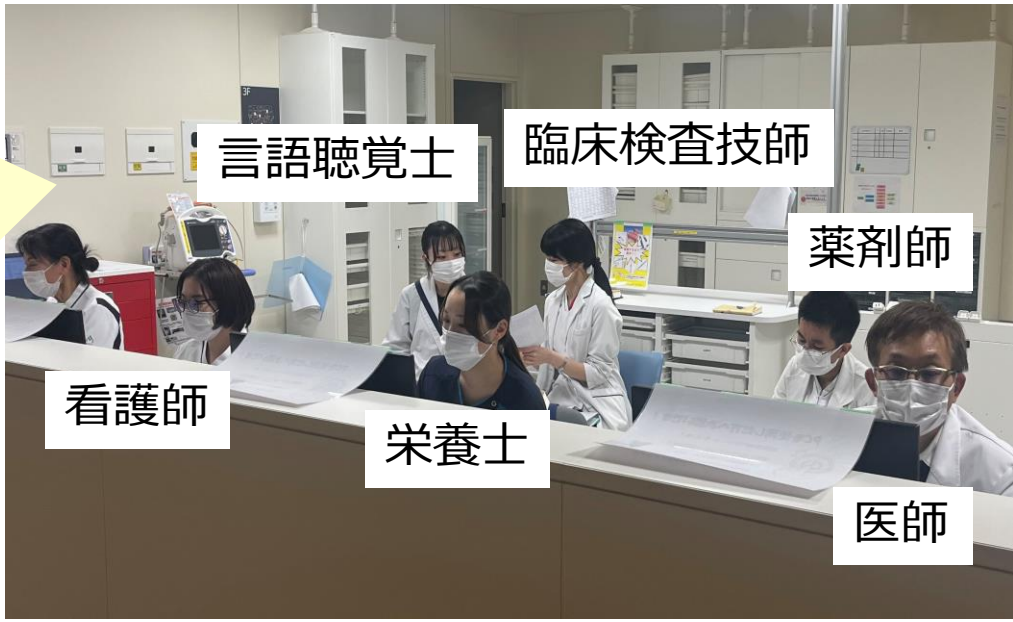
AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

ASTではカンファレンスを毎週１回行い、血液培養陽性患者や広域抗菌薬使用患者などの治療状況を確認しています。薬剤師も適切な抗菌薬の投与量、投与方法の提案を行い、抗菌薬の適正使用を支援しています。



NST（栄養サポートチーム）

NSTではカンファレンスを毎週１回行い、薬剤師としてチーム回診への参加はもちろん輸液や栄養の管理、そして処方提案などの業務を担っています。



薬剤師からのメッセージ（1）

普段はどのような仕事をしていますか？？



4年目薬剤師

普段はHCU病棟担当薬剤師として勤務しています。主な業務は入院患者さんの持参薬確認、バイタルや採血結果に応じた薬剤投与量の確認、注射剤の配合変化などのチェックなどです。患者さんの状態の変化が特に大きい病棟なので他職種と連携をとりながら薬物治療に関して介入をしています。



（中途採用）薬剤師からのメッセージ（2）

当院で勤務してみた感想は？？



5年目薬剤師

薬剤科内の風通しが良いため、前職の経験を活かし積極的な意見交換ができています。また、他職種との距離も近いため連携が取りやすいこともメリットだと思います。その結果として患者さんへより良い医療の提供が出来ていると思います。



（中途採用）薬剤師からのメッセージ（3）

認定資格の取得を目指した理由は？



8年目薬剤師
外来がん治療認定薬剤師

日々の業務の中で、自分の知識や判断が患者さんの治療に影響することを実感します。その際に、自信をもって業務に臨みたいと思い認定取得を目指しました。資格取得の勉強は大変でしたが、既に認定資格を取得している薬剤師にサポートしてもらえたので心強かったです。



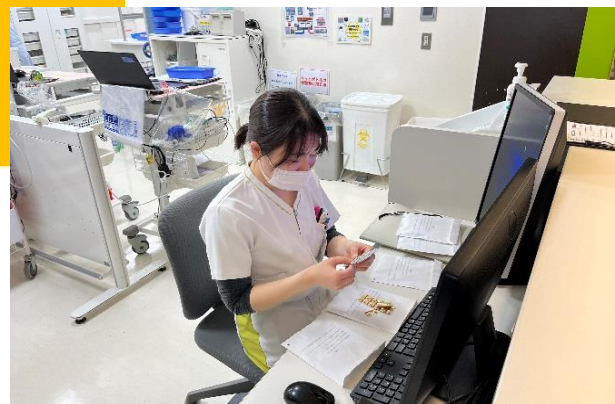
（中途採用）薬剤師からのメッセージ（4）

病院薬剤師のやりがいはなんですか？



10年目薬剤師

様々な診療科の疾患にふれる機会があり、バイタル・検査値だけでなく患者さんと直接話したり、他職種の方から情報を得て、薬学的介入をすることができるのがやりがいにつながると思います。



見学・就職を希望する方は、
お問い合せフォームからご連絡下さい。

